全国保険医団体連合会が取り組む

新型コロナウイルス感染拡大の影響に関するアンケート

福島県分結果報告（医科版）

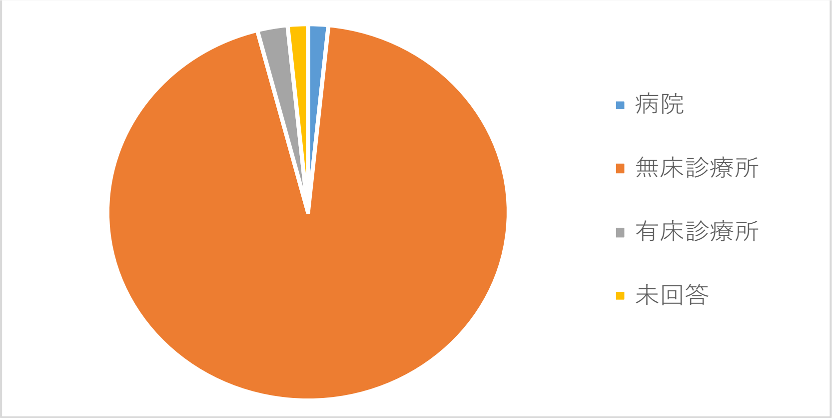
960-8252　福島市御山字中屋敷９６
福島県保険医協会 理事長 松本 純
電話:024-531-1151 FAX:024-531-1153

2020 年 6 月 5 日

回答数　：123 件（送付数 784 件、回答率 15.7%）
実施方法：定期の送付物に同封し、FAX での返信を求めた。
集計期間：2020 年 5 月 15 日から 5 月 29 日

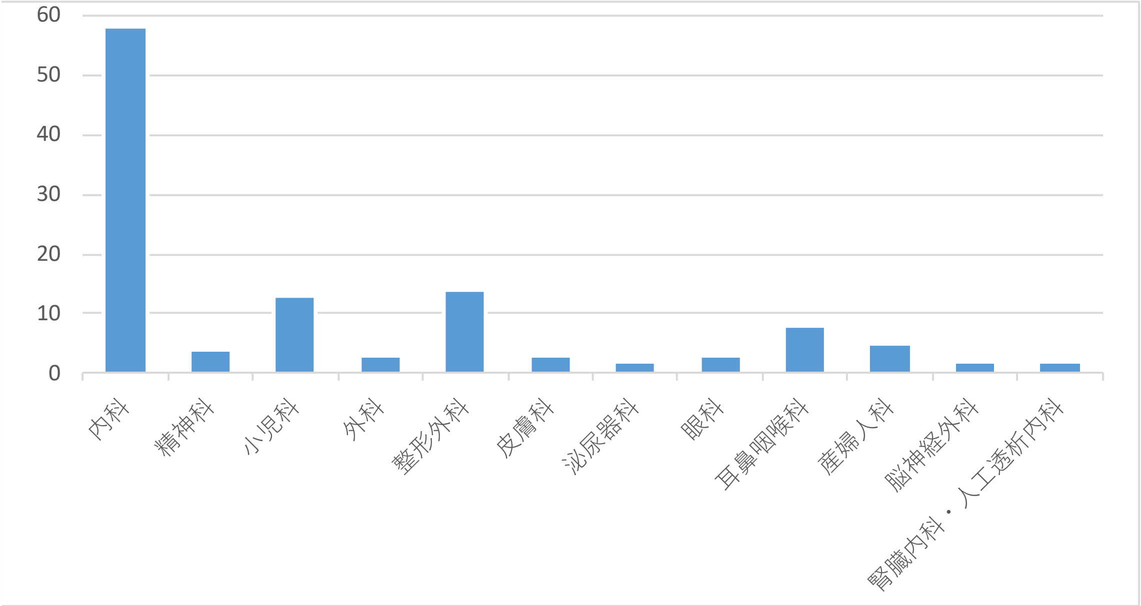
１．回答者の基本的な事項

１）医療機関の形態



病院	無床診療所	有床診療所	未回答
2	116	3	2
1.6%	94.3%	2.4%	1.6%

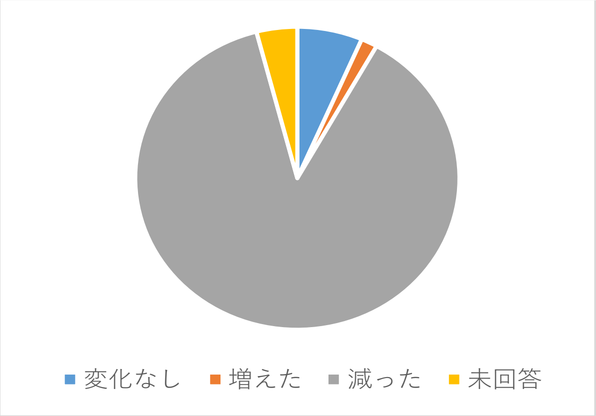
２）診療所の主な標榜科



内科	精神科	小児科	外科	整形外科	皮膚科	泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科	産婦人科	脳神経外科	腎臓内科・人工透析	未回答
58	4	13	3	14	3	2	3	8	5	2	2	4
47.9%	3.3%	10.7%	2.5%	11.6%	2.5%	1.7%	2.5%	6.6%	4.1%	1.7%	1.7%	3.3%

２．前年４月と今年４月の比較

１）外来患者数

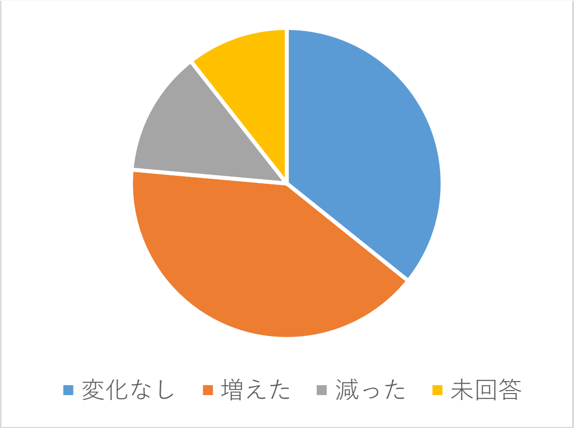


変化なし	増えた	減った	未回答
8	2	108	5
6.5%	1.6%	87.8%	4.1%

減ったの内訳

~30%	74	68.5%
~50%	22	20.4%
~70%	7	6.5%
70%以上	1	0.9%
未回答	4	3.7%

２）患者からの予約の延期やキャンセルの依頼件数



変化なし	増えた	減った	未回答
44	50	16	13
35.8%	40.7%	13.0%	10.6%

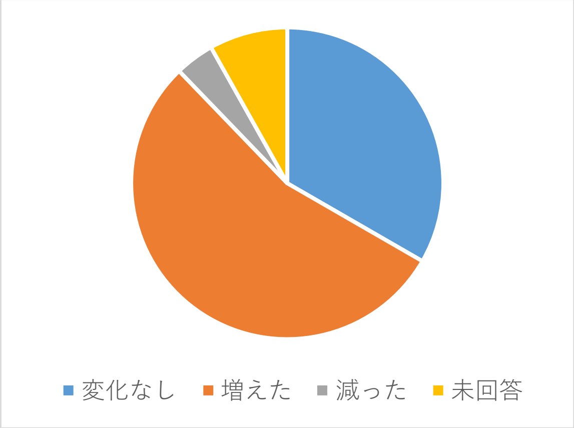
増えたの内訳

~30%	42	84.0%
~50%	4	8.0%
~70%	1	2.0%
70%以上	0	0.0%
未回答	3	6.0%

減ったの内訳

~30%	13	81.3%
~50%	2	12.5%
~70%	0	0.0%
70%以上	0	0.0%
未回答	1	6.3%

３）電話再診件数



変化なし	増えた	減った	未回答
41	67	5	10
33.3%	54.5%	4.1%	8.1%

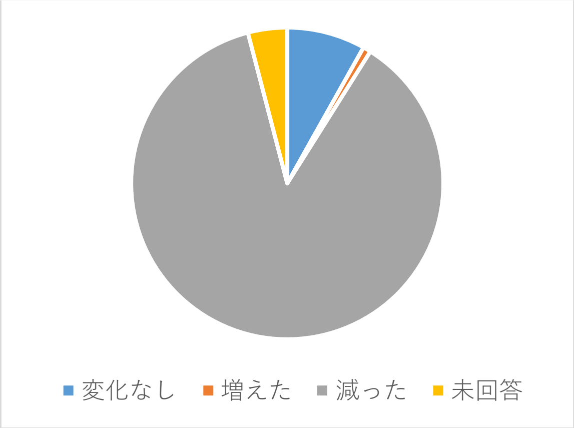
増えたの内訳

~30%	48	72.7%
~50%	2	3.0%
~70%	0	0.0%
70%以上	3	4.5%
未回答	13	19.7%

減ったの内訳

~30%	5	100.0%
~50%	0	0.0%
~70%	0	0.0%
70%以上	0	0.0%
未回答	0	0.0%

４）保険診療収入

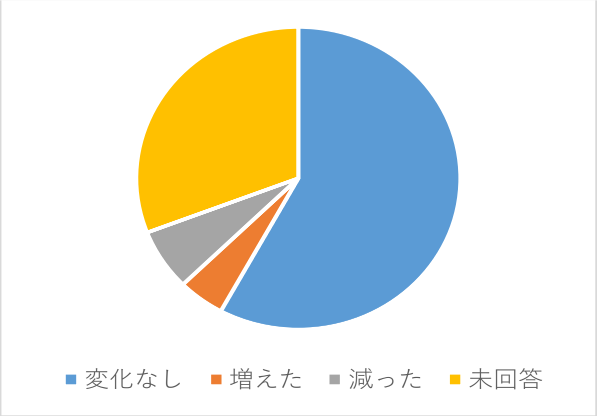


変化なし	増えた	減った	未回答
10	1	107	5
8.1%	0.8%	87.0%	4.1%

減ったの内訳

~30%	77	72.0%
~50%	15	14.0%
~70%	6	5.6%
70%以上	1	0.9%
未回答	8	7.5%

5）在宅・訪問診療件数



変化なし	増えた	減った	未回答
62	5	7	33
57.9%	4.7%	6.5%	30.8%

増えたの内訳

~30%	4	80.0%
~50%	0	0.0%
~70%	0	0.0%
70%以上	0	0.0%
未回答	1	20.0%

減ったの内訳

~30%	4	50.0%
~50%	3	37.5%
~70%	0	0.0%
70%以上	0	0.0%
未回答	1	12.5%

6）患者さんの受診手控え、訪問診療先から断られる、診療できないことによる患者さんの口腔状況等悪化等、お気づきの点、お困りの点（自由記載）

①初診の患者さんはほぼゼロ、再診の患者さんは 4 月はマイナス 20%

②患者さんの受診手控えが見られます。

③クリニック内でのコロナ感染への不安

④受診手控えには、電話等で対応しているが

⑤新患、再診患者減少特に外傷患者減少してます。

⑥慢性疾患、特にがん患者の定期外来通院に問題発生している。

⑦高齢者の受診手控え、家族による薬の提供

⑧通常診療が減り、新患（あまり来ないで欲しい高熱・咳の方、他医を断られた）が増えたがコワイだけ

⑨毎年の大口健診が秋頃に変更になったり、高齢のご家族が受診を懸念しているケースが多いです。

⑩これまでよりもより長期の処方希望が増えた

⑪ネブライザーなど処置や治療の一部を控えているため、受診手控えがある

⑫感染がこわいと

⑬発熱患者への直接受診お断りポスターを貼っているが、町で出ていないため、気にせず受診される患者がいる。

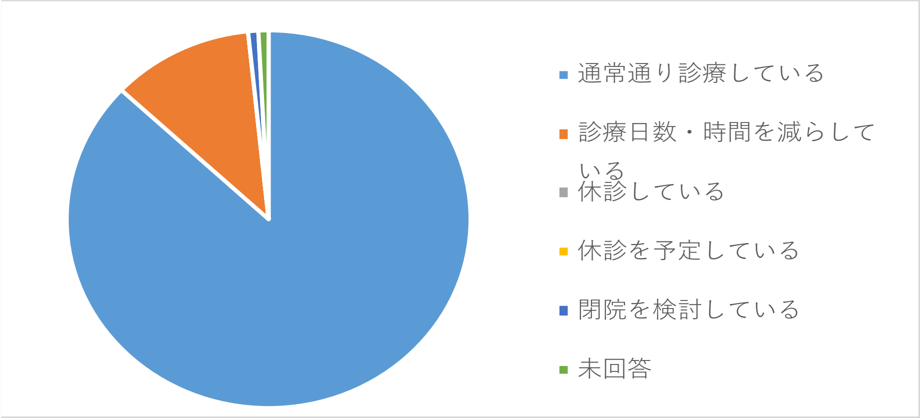
⑭4 月は本人がこなく、家族が来たりしている。

⑮長期処方の希望
⑯患者さんの受診控えが顕著です。元来、小児科診療所は発熱、咳・鼻水等の風邪症状の患者さんが大半を占めております。慢性疾患の方は 1～2 割程度ですので、急性疾患の方の受診控えが続きますと、外来患者数の減少が著しいです。受診によりコロナに院内感染してしまうのではとの不安からでしょう。
⑰新患で受診される方がかなり少なかった。
⑱外来受診への抵抗があるようでした。
⑲長期処方が増えた 1 ヵ月⇒2 か月
⑳患者さん、医療スタッフとも新型コロナへの不安はある。来院の手控えもある。安定している方へは長期処方を行う。収束するまで続くことはしょうがないので耐えるしかない。
㉑初診の電話診療の点数がとれたことが一度もない
㉒受診手控えや高齢の方に 2 か月近く薬を処方したりと、3 月下旬以降、患者数は減少している。
㉓緊急事態宣言もあって、患者さんが減ったが、この状態がどのくらい続くか不安です。
㉔長期処方希望者が増えた
㉕リウマチの患者さんが新型コロナが怖いため来院せず服薬を中断していたら、自力で動けなくなり、家族につれられて来院した方が 2 人程いました。
㉖「ステイホーム」とのことで外来診察の患者さんが急激に減少した。駐車場がガラガラの日も多くなっている。また、当院では「通所リハビリ」も実施しているが、参加手控えの方が増えている。
㉗コロナ感染を心配して受診手控える方が増えた。電話対応が増えた。医療側も 30 日処方を 60 日処方にした。眠剤などは 30 日処方のまま、これも 60 日処方を認めてほしかった。
㉘検査・健診に関しては、患者からの予約の延期やキャンセルの依頼は 70%以上増えた
㉙デイサービスを利用していたが家族がコロナを心配して休止。入浴は家で不可にて皮膚トラブル出現。定期の薬を長期に希望されるが、眠剤は 30 日以上不可のため、あきらめさせる以外なかった。
㉚高齢の患者様が多く、家族から外出を控えるよう病院には行かないよう強く言われるらしいので、若い人の言う事を聞かないと立場が悪くなるとのことで皆さん受診を控えています。
㉛来院されても長期処方を希望される方が増えたため、必然的に外来レセプト数

も減少しました。
㉜患者さんの受診手控えをかなり感じる。病状悪化もあり得るのではないか。
㉝病院への紹介時、covid19 の問診やらなどで手間がかかる

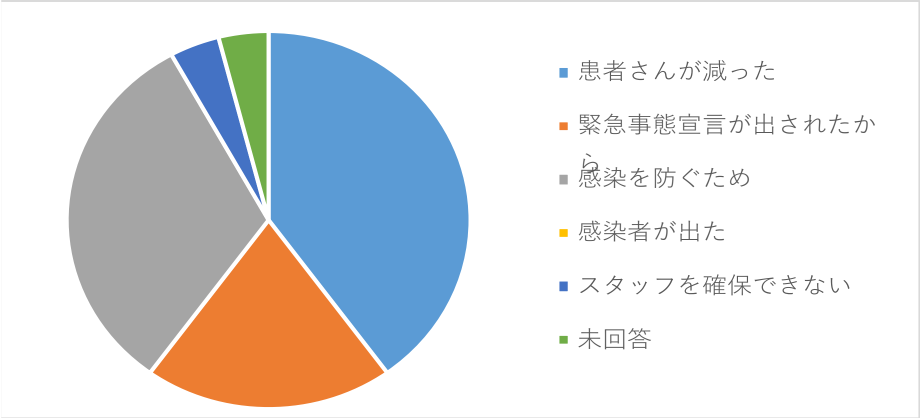
３．休診等の状況について

１）休診の有無



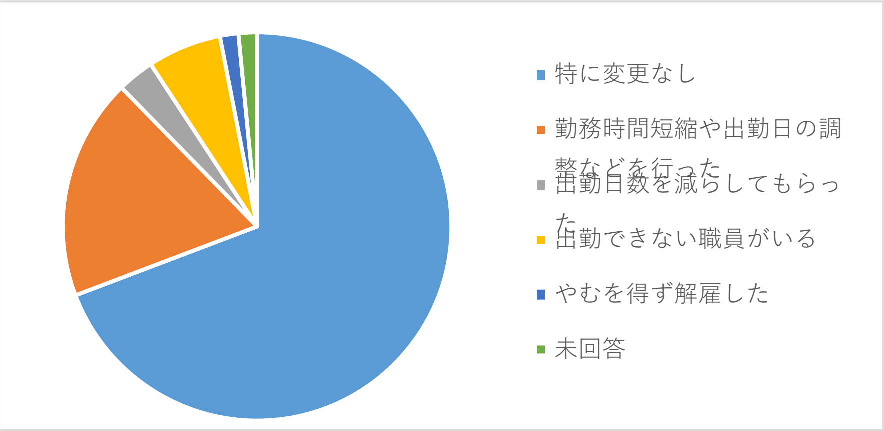
通常通り診療している	診療日数・時間を減らしている	休診している	休診を予定している	閉院を検討している	未回答
107	14	0	0	1	1
87.0%	11.4%	0.0%	0.0%	0.8%	0.8%

２）休診等の理由（※複数回答。上記「診療日数・時間を減らしている」と回答された医療機関のみの集計）



患者さんが減った	緊急事態宣言が出されたから	感染を防ぐため	感染者が出た	スタッフを確保できない	未回答
40.0%	20.0%	32.0%	0.0%	4.0%	4.0%

4．スタッフの勤務・出勤等の対応について（複数回答）



特に変更なし	勤務時間短縮や出勤日の調整などを行った	出勤日数を減らしてもらった	出勤できない職員がいる	やむを得ず解雇した	未回答
90	24	4	8	2	2
69.2%	18.5%	3.1%	6.2%	1.5%	1.5%

1）職員が出勤できない理由

①子どもの学校、保育所の閉鎖にともない

②妊娠している職員に早めに産休に入ってもらった

③保育園が休園

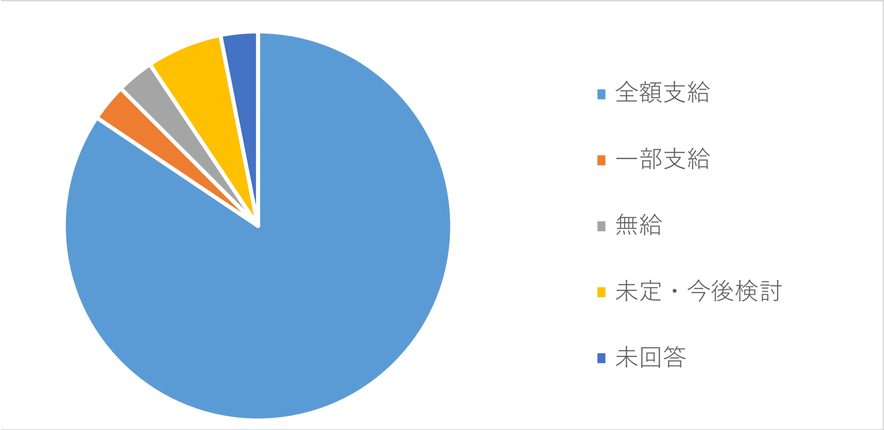
④子どもの学校が休みのため

⑤偶然、クラスター発生施設に居合わせ、2 週間休んでもらった

⑥保育園休みのため、在宅育児を行わなければならない。

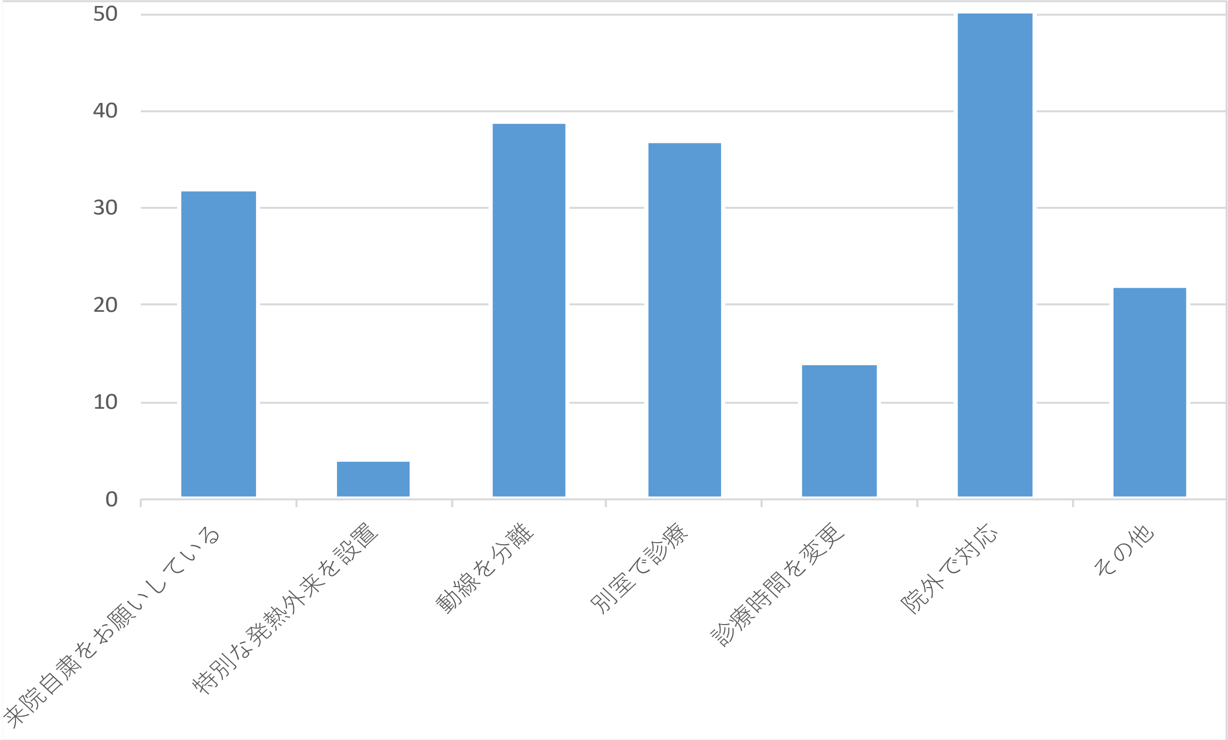
⑦保育所に預けることができないため

５．スタッフの勤務時間や日数を減らした場合の給与支給について
上記「３」で特に変更なし・未回答と回答された方を除く



全額支給	一部支給	無給	未定・今後検討	未回答
84.4%	3.1%	3.1%	6.3%	3.1%

６．発熱患者への対応（複数回答）



来院自粛をお願いしている	特別な発熱外来を設置	動線を分離	別室で診療	診療時間を変更	院外で対応	その他	未回答
32	4	39	37	14	51	22	3
15.8%	2.0%	19.3%	18.3%	6.9%	25.2%	10.9%	1.5%

１）その他の対応具体例

①問診で新型コロナ感染疑いではないと判断したら通常診療

②特に対応できない

③コロナが疑われれば、発熱外来等受診を指導、疑いが低ければ感染防護を徹底して診療

④発熱外来を紹介

⑤発熱時は電話相談後の受診をお願いしている。

⑥特別な対応はしていない

⑦発熱だけでなく、症状を確認しながら受入れ、又は発熱外来等を紹介

⑧特に対応なし

⑨小児科診療所では、発熱等で受診される方が大半です。標準予防策を徹底したうえで通常診療せざるを得ません。

⑩待機場所設置

⑪状況を聞き必要に応じ発熱外来へ案内

⑫標準予防策で通常診療。別室がない。

⑬問診で診察可か判断し、発熱外来や保健所紹介等、区分けしている。

⑭外来血液透析を施行しているので隔離透析を施行します

⑮受付で体温測定をしている。

⑯受診時間を指定（外来時間外等に来院していただく）（時間分離）

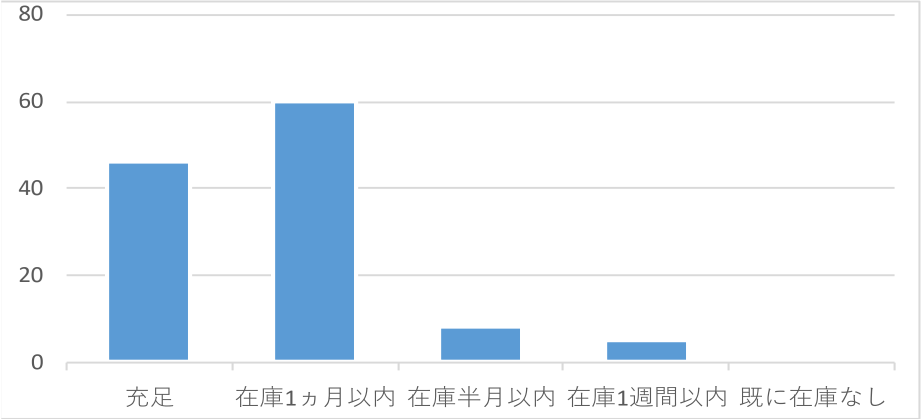
⑰車・別室で順番まで待ってもらう

⑱通常診療

⑲車の中で待ってもらい、診察時には診療室へ入り、診療終了後には再び車の中で会計まで待っていただく

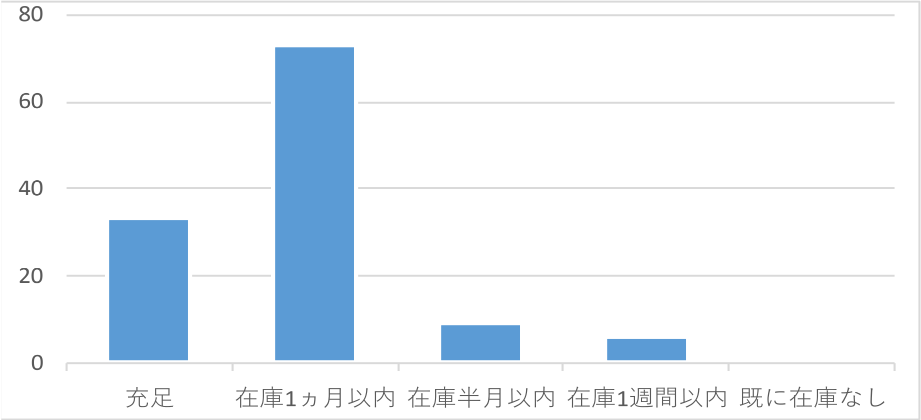
7．医薬品や衛生用品、防護用品等の現時点での確保状況（発注中で未着のものは含まない）

１）医療用マスク



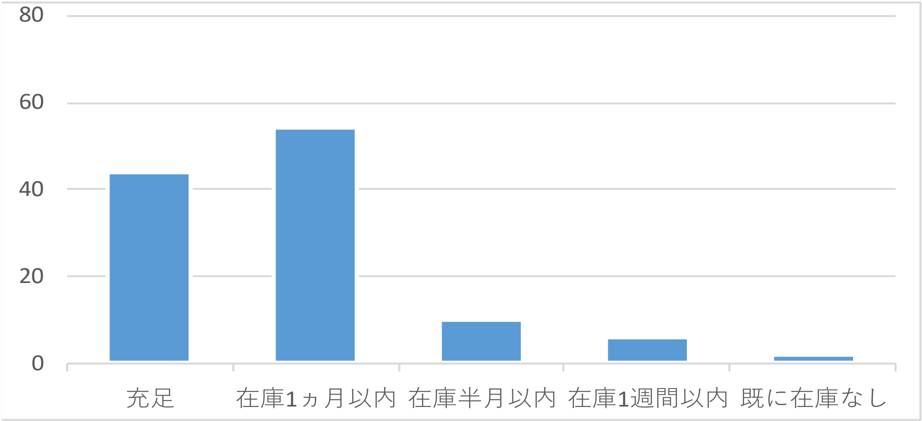
充足	在庫1ヵ月以内	在庫半月以内	在庫1週間以内	既に在庫なし	未回答
46	60	8	5	1	3
37.4%	48.8%	6.5%	4.1%	0.8%	2.4%

２）手指消毒剤



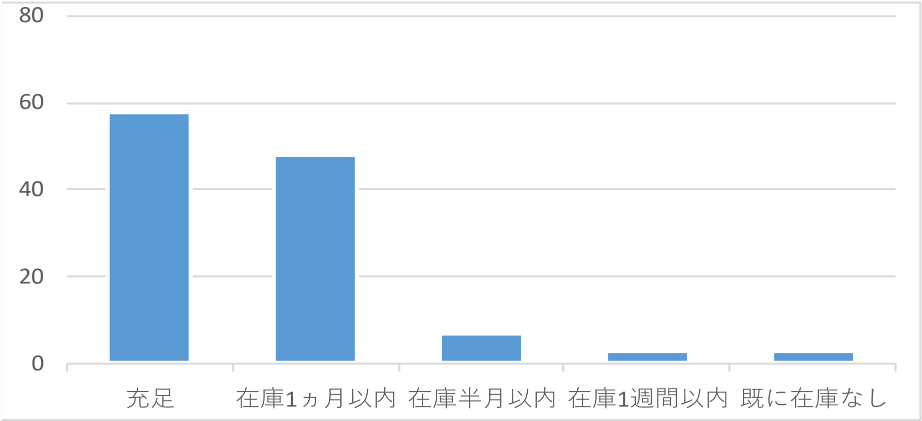
充足	在庫1ヵ月以内	在庫半月以内	在庫1週間以内	既に在庫なし	未回答
33	73	9	6	0	2
26.8%	59.3%	7.3%	4.9%	0.0%	1.6%

３）機材消毒剤



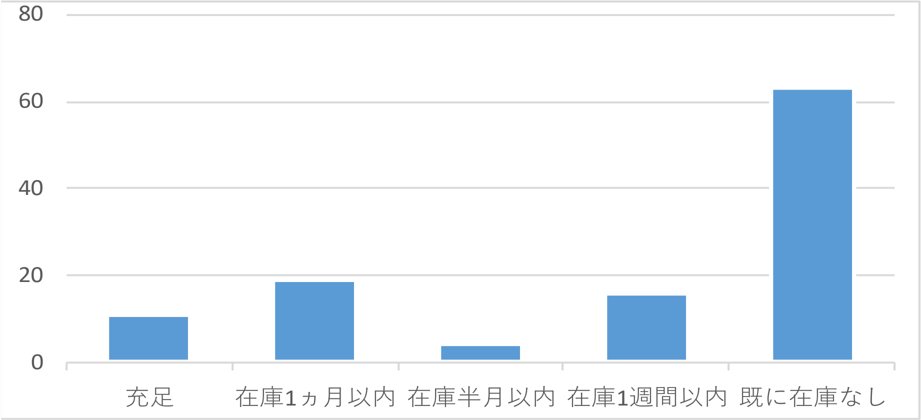
充足	在庫1ヵ月以内	在庫半月以内	在庫1週間以内	既に在庫なし	未回答
44	54	10	6	2	7
35.8%	9.0%	8.1%	4.9%	1.6%	5.7%

４）グローブ



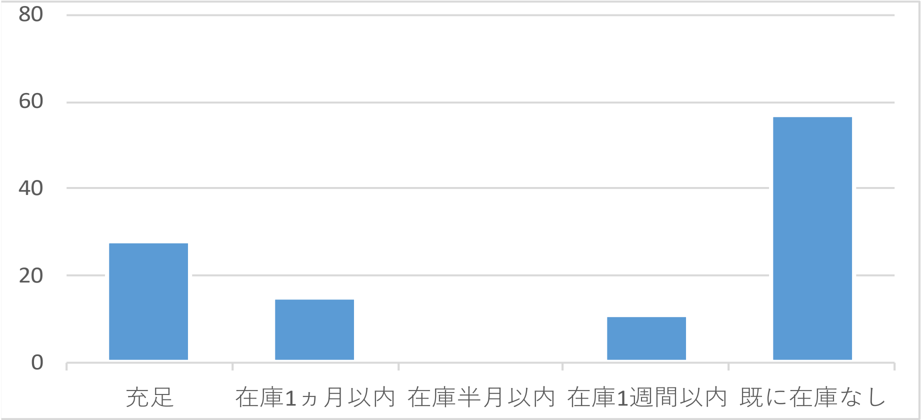
充足	在庫1ヵ月以内	在庫半月以内	在庫1週間以内	既に在庫なし	未回答
58	48	7	3	3	4
47.2%	39.0%	5.7%	2.4%	2.4%	3.3%

5）防護服



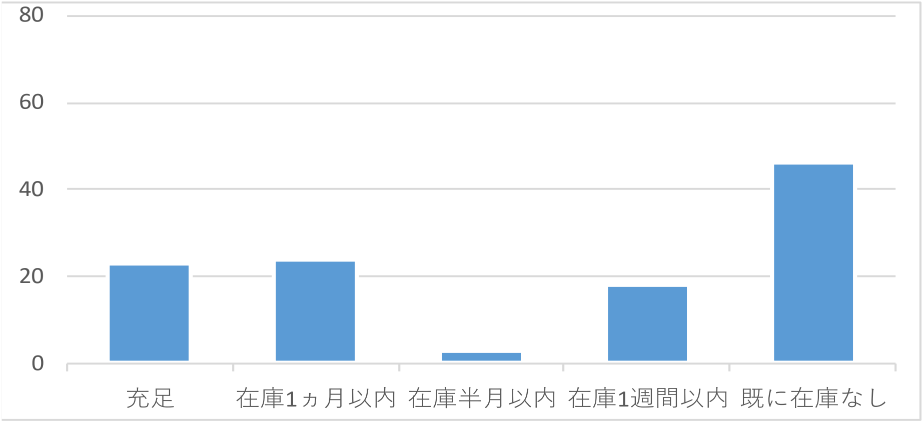
充足	在庫1ヵ月以内	在庫半月以内	在庫1週間以内	既に在庫なし	未回答
11	19	4	16	63	10
8.9%	15.4%	3.3%	13.0%	51.2%	8.1%

6）ゴーグル



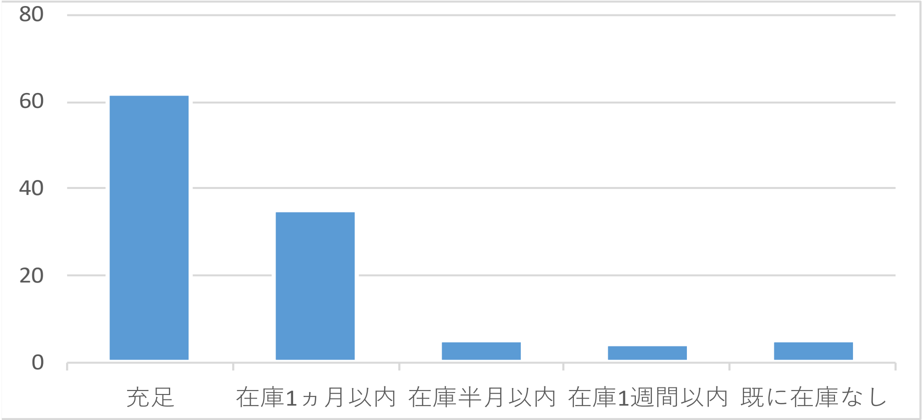
充足	在庫1ヵ月以内	在庫半月以内	在庫1週間以内	既に在庫なし	未回答
28	15	1	11	57	11
22.8%	12.2%	0.8%	8.9%	46.3%	8.9%

７）フェイスシールド



充足	在庫1ヵ月以内	在庫半月以内	在庫1週間以内	既に在庫なし	未回答
23	24	3	18	46	9
18.7%	19.5%	2.4%	14.6%	37.4%	7.3%

８）生理食塩水、精製水



充足	在庫1ヵ月以内	在庫半月以内	在庫1週間以内	既に在庫なし	未回答
62	35	5	4	5	12
50.4%	28.5%	4.1%	3.3%	4.1%	9.8%

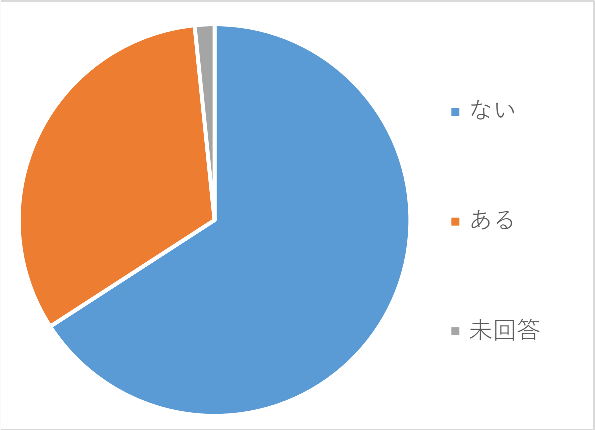
９）その他不足しているもの

①ガーゼ
②キャップ
③次亜塩素酸
④消毒用クロス
⑤ガーゼ、装具類
⑥患者さんの注射時等に使用する消毒用アルコールが不足です
⑦ガーゼ

⑧ガーゼ
⑨ガーゼ
⑩体温計、ガーゼ、ハンドソープ（泡）
⑪体温計

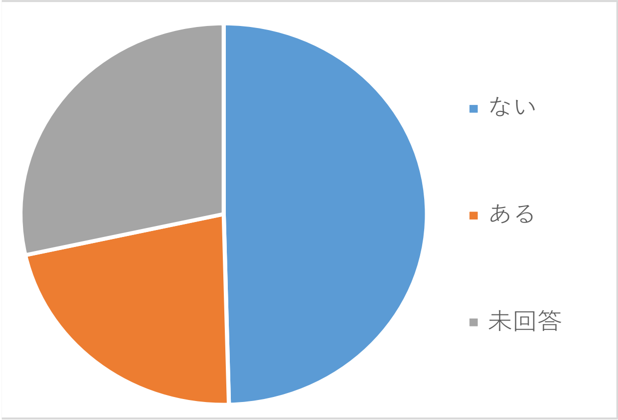
８．ＰＣＲ検査について

１）ＰＣＲ検査を依頼したことが



ない	ある	未回答
81	40	2
65.9%	32.5%	1.6%

２）ＰＣＲ検査の必要性を指摘したにも関わらず、保健所・指定病院等から検査を拒否された事例はありましたか



ない	ある	未回答
61	27	35
49.6%	22.0%	28.5%

３）ＰＣＲ検査について患者からの要望や、お気づきの点、お困りの点がありましたらご記入ください。

①PCR 検査を希望している方で保健所で様子をみる様言われることはない。

②鼻咽頭からの採取は感染の可能性が高いので、唾液でも可能にして欲しい。

③患者が相談センターに電話すると、かかりつけ医を受診するように言われたようです。医師が直接電話して依頼しないと検査をうけられない様です。

④電話がつながらない

⑤なかなかＰＣＲ検査にたどり着けぬのが悩みです。ハードルがとても高いので困ります。

⑥すぐには検査してくれない

⑦不必要なＰＣＲ検査の実施を強調するメディアの沈黙

⑧保健所に頼むと検査をやってくれない。

⑨保健所との連絡時間が長く、効率が悪い

⑩保健所、帰国者・接触者相談センターに一任しております。

⑪クリニックでも order できるといいですね。抗原と抗体も

⑫普通に検査してもらえると思っている方が多い。感冒症状で陰性確認を期待する方が多い。

⑬今のところ保健所等に相談している人が多い。

⑭当院では PCR 検査はできない旨を説明し、他病院へ紹介したが、まず、PCR 検査をやってもらえると思って受診するため、PCR 検査ができない場合に苦情がくる。前もって十分説明しておかなければならないと思った。

⑮地域内で集約した窓口があるべき。感染防護設備のない一般診療所へ、一度かかりつけを受診するようにと受診を促されてもやれることがない。

⑯最終的には当院で PCR 検査をして保健所スタッフに検体を運んでいただいた。

⑰PCR 検査を実施していない旨の告知をしている。

⑱陽性、陰性、偽陽性、偽陰性、信頼度に疑問がある

⑲医師が検査が必要と判断した患者には、改めてトリアージせず対応してもらいたい。

⑳PCR 検査を受けてもらったが、結果は次の日とのことで、その日の治療に困ってしまった。PCR 検査センターはできたが、従事する医師に防護器材や補償に不安あり。

㉑PCR 検査希望の人が多い

㉒医師が必要と判断した場合は、すぐに行ってほしい。（2 日間自宅で様子をみてから、再依頼するように指示された。）

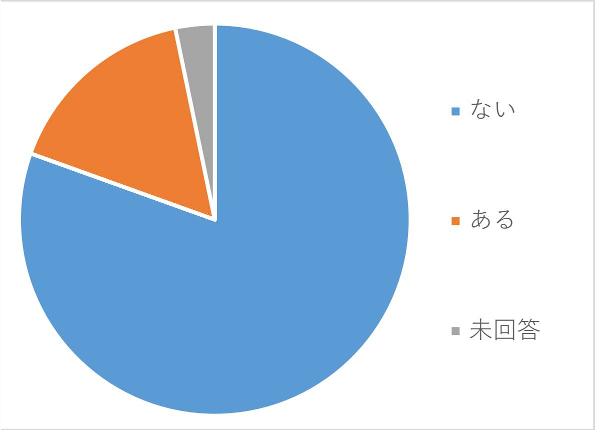
㉓感染を心配して精神的に不安定になっている患者が少なくない。安心のための

PCR 検査は慎むべきかとは思うが、納得しない患者も存在する。

㉔当初は保健所から検査対象ではないと、医療機関受診をすすめられたケースが多くありましたが、最近は医療機関からの情報提供で検査してもらえるようになった。

㉕新規入院患者に PCR 検査か抗原検査を実施して、院内感染を防げればと考えている。

９．新型コロナウイルスに関連して、いわゆる「風評被害」はありましたか。



ない	ある	未回答
99	20	4
80.5%	16.3%	3.3%

具体例

①受診したくないので、薬だけ送ってくれという電話が数件あった。

②感染がこわいから受診ひかえている等

③外来受診回数減少

④よくわからないが、受診者が減少している。「受診するとうつる」ということで、ワクチンなども手控える方がいる様です。

⑤確実な理由および根拠なく、通院を控える傾向や処方日数の増加を要求される例が多い

⑥新型コロナウイルス感染症についての相談、受診の目安（厚労省より）にて、患者様に説明しても、なかなか理解していただけなかったり、病院に行くと感染すると電話あったりしました。

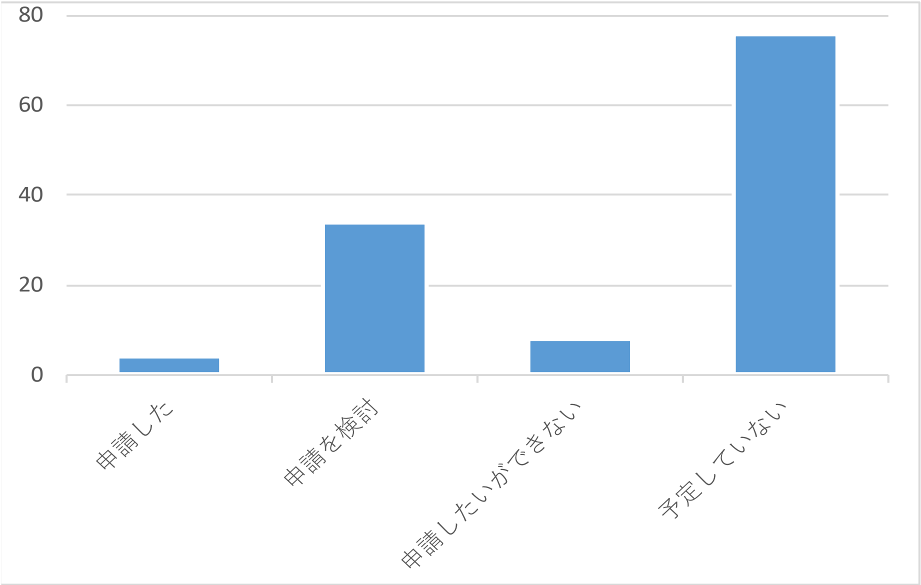
⑦新型コロナ患者が出たという風評被害

⑧院内での麦茶の提供を不用意な対応と拒否された。依頼中止しているが、夏季の水分補給に懸念

⑨受診手控え

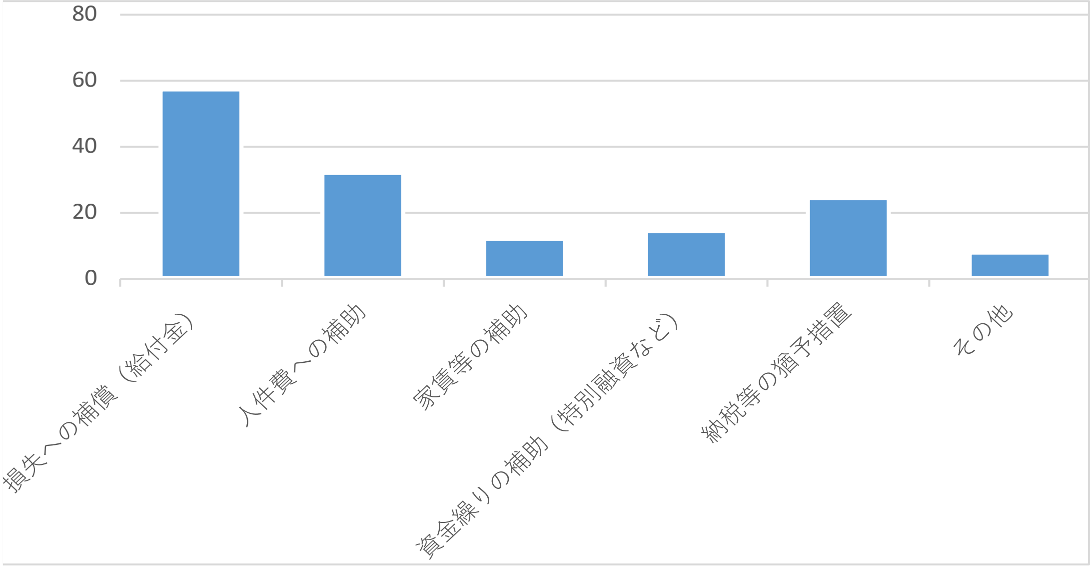
⑩スタッフである看護師のお子さんが、保育所から医療機関の家族であることを理由に登所を控えるように言われた。
⑪患者さんを電話再診にて減らしています。
⑫外来での感染を考えている。
⑬やはり病院に近づかない
⑭休業しているとのウワサが出た
⑮感染リスクがあるので受診を控えている。
⑯市内病院で眼科手術を受けた後にコロナウイルス感染症発症報告があったため、該当病院ではないか問合せ多数あり、予約のキャンセル（診察、手術）も相次いでおこり、職員はその対応に追われた。患者数減に拍車をかけた。
⑰院内感染のなどのリスクを気にされている
⑱「ステイホーム」のため、外来患者が確実に少なくなっている。
⑲スタッフの家族から、コロナの患者さん相手の仕事の可能性を心配されて困っている。
⑳電話再診が多くなりました。

１０．国・自治体等の助成金や融資について



申請した	申請を検討	申請したいができない	予定していない	未回答
4	34	8	76	1
3.3%	27.6%	6.5%	61.8%	0.8%

１１．国・自治体等に創設・拡充を希望する支援策（複数回答）



損失への補償（給付金）	人件費への補助	家賃等の補助	資金繰りの補助（特別融資など）	納税等の猶予措置	その他	未回答
57	32	12	14	24	8	37
31.0%	17.4%	6.5%	7.6%	13.0%	4.3%	20.1%

１）その他希望する支援策

①診療点数の増額、補助
②固定資産税の減免
③医薬品や衛生用品の確保
④感染予防備品への補助
⑤保健所業務が多忙であれば、時限的に多くの仕事が休止中の方を採用して感染対策のため人手が必要な業務を任せるようにしたらどうか。
⑥税金の減免
⑦定額補助

１２．自由記載

①ＰＣＲ検査をスムーズに行われる様に
②4 月より、5 月に入って、受診者が急激に減少している。収入が落ちているが、どうしていいかはわからない。
③感染症医療機関ではないので、対応が難しい。患者様をことわる判断が難しい。
④マスクと手指消毒剤を確保して欲しい。
⑤ＰＣＲ等、確認検査、手段など市民に解りやすい方法や広報を進めて欲しい。
⑥発熱外来の設置を希望
⑦保険診療収入が減って、資金繰りに困った時は、国・自治体の助成金や融資をお

願いするつもりです。資料作成はできるだけ簡単なものにしてほしいです。保険医協会には資料作成のポイント等を掲載してほしいです。

⑧感染予防の器材、薬剤の補助

⑨衛生用品の不足に伴い、発注しても不足が解消されない（どの病院も同じだとは思いますが)

⑩医薬品や衛生用品の確保をお願いします。

⑪17％減で院長給与を減額しようと思っている。いつまでつづくか不明なので、助成金は良いが、融資されたりしても返すあてがないので、閉院が選択されるか？

⑫医薬品、衛生用品等、注文してもこない。医薬品は全然関係のない所が買ったりしている。

⑬現在の状況が続きますと、経営困難⇒閉院せざるを得ません。複数回の給付金によって医業収益の損失を補償していただくか、一時的な診療報酬上乗せを考慮していただき、私たちのような窮地の診療所を存続させて下さい。

⑭第２波以後に備えて、マスク・ガウン・消毒液とか補充してください。

⑮防止対策のスクリーン設置費用、スタッフへの自宅待機に対する補助など●を期待します。

⑯ＰＣＲ あるいは 簡易検査を普通にできるようにして欲しい。

⑰給付金を申請するほどではないが、受診数は減っており、報酬は減っている。できれば、スタッフの雇用は守りたいが、内部留保が少ないので考慮が必要。

⑱発熱外来をどこでやっているか。ＰＣＲをどこでやっているか。●明確にしらされていない。

⑲院内感染やトリアージについて学び、実行できたいい機会だった。

⑳月１回の受診、検査などを症状・病状が安定している人にも必要なのか？不必要な医療をやめて、必要な医療にお金をかけるシステムにしてもらいたい。

㉑ア．国、自治体に助成金を申請したいが要件のハードルが高すぎる。イ．通院している高齢者の服薬に対する意欲が、何となく、低下しているような気がする。これに対して、院内処方を行っているにも関わらず、院外処方薬局と同じように一包化をすすめているが、このような努力に対する、院内処方クリニックに対する診療報酬がない。院外薬局のクリニックにはわからないだろうが、これに対する保険点数があっても良いと思う。

㉒上記の診療対応、感染症対策は自院なりにしているが、衛生用品が注文しても入ってこないので、感染拡大の時に不安。また、不要不急の外出控えで、受診抑制もあり、経営上は減収している。

㉓医療用マスク、手指消毒剤など発注しても在庫がないと言われる。購入できるよ

うにしてほしいです。スタッフの感染があった場合のことを考えると不安です。
㉔眼科手術が緊急を要しないものと判断されたことにより、収入減となっている。患者数は減っているが、診療は通常通り行っているため、人件費削減にはならない。
㉕当クリニックは、産婦人科にて子宮がん検診が６月から始まります。検査会社では期間の延長が決まりましたが、各自治体では、まだ、延長するかどうか決定していず、検診を控える患者しか予想できず、経営には不安である。
㉖感染予防対策のための費用が増加している
㉗物資が十分に供給されることを希望します。
㉘軽度感染者を時施設で診る場合や濃厚接触者がでた場合（感染流行期）に、風評被害やスタッフ不足等の心配はあります。（現段階では透析患者さんの感染が確認された場合は入院対応になっていますが、クラスター形成の可能性は高いです。）
㉙現在のところ、特にありません。
㉚PCR を希望した場合、ハードルを設けず、すぐに対応してもらいたい。
㉛マスクの配給を２日で１枚とした期間があり、従業員もみんないっしょとは言え、たいへんモチベーションの下がる思い。
㉜コロナ感染対策で、受付・会計の飛沫感染予防ｼｰﾄ、消毒用アルコール、マスク、グローブ、その他の費用がかなり多くなった。また、マスクの原料でガーゼや包帯が品薄になったので、医療に使うものの優先を考えていただきたい。子どもさんを抱えたスタッフの勤務ができ成るくなることがあり、休みの扱いをどうすべきか今後考えていかなければならない。
㉝看護師不足
㉞マスクが手に入るか心配。帰国者・接触者外来が遠い。タクシーで 40 分位、7,500 円位かかる。
㉟本宮市でクラスターが発生した 4/13 を境に患者さんが 50%以上受診を控えています。４月は前年度の収入 30%減、５月はそれ以上の減収が見込まれます。先が見えない不安があります。いつも保険医協会の方々には、大変お世話になっております。今回もいち早く様々な情報をＦＡＸや新聞で教えて頂き大変ありがたく思っています。今後ともよろしくお願いします。
㊱スタッフのお子さん（学童保育）のあずけ先がいろいろ制限がある様子。病院診療所に勤務しているスタッフの学童保育あずかり等は優先的に対応して欲しい。より柔軟に受け入れる様要請して欲しい。
㊲コストはふくらむ一方で、収入は先細りが進むばかりで先行きが不安です。国は

医療費がただ減れば良いとしか思ってないのでしょうか？
㊳ア．感染防止のための物品（マスク・ガウン etc）を購入できるよう要望イ．感染・発熱外来などを市で設置して欲しい。
㊴ア．県全体でコロナ対応をどう持っていくのか。病院・大学・クリニックを含めたグランドデザイン及びマネジメント。以下のカテゴリー毎の対処案が必要。・医一般患者・高齢者・認知症・小児・妊婦・精神障害・院内クラスター発生時。イ．PCR 検査、抗原検査の拡充。ウ．感染防護器材が手に入りにくいので、対応してもらいたい。エ．院内感染に備え、陰圧装置、患者移送器材、感染症専門医・スタッフの派遣を手当する仕組みの構築が望まれる。オ．新型コロナに特化した重点施設の整備（中度ケース対応）・・・“神奈川モデル”を参考に
㊵動線の分離の具体例等、厚労省や医師会より指針を出していただき、患者様にとっても我々医療従事者にとっても安心安全な診療が行うことができるようサポートしていただければ幸いである。
㊶covid19 患者を診察しても、その後休診とはしないようにして欲しい。